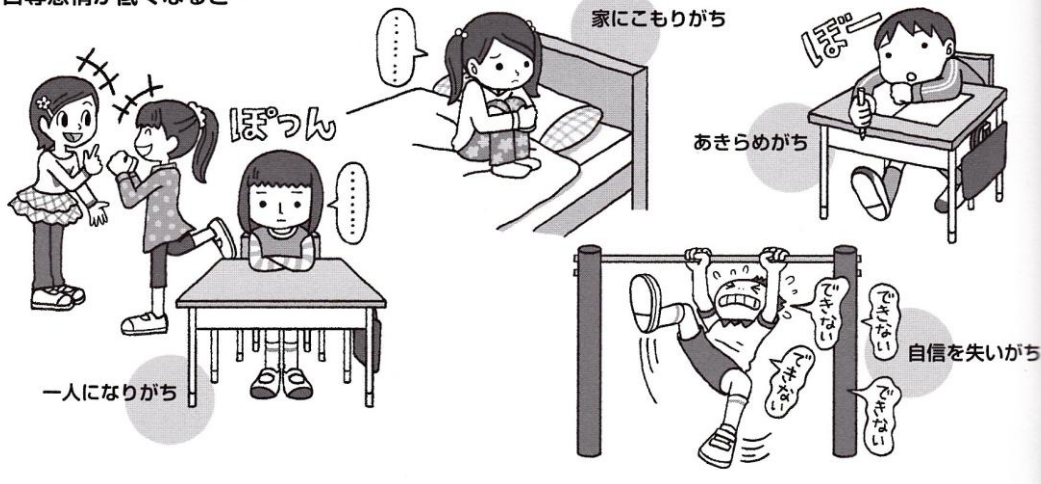


< 自尊感情 >

自尊感情とは「自分自身を価値ある存在と思う気持ち」のことです。自尊感情が低くなると、子どもは自信とやる気を失ってしまいます。特に発達障害のある子は、失敗することや叱られることが多く、自尊感情が低くなりがちです。

自尊感情が低くなると…



自尊感情を高める（下げない）指導・支援のポイントを紹介します。

①「結果」でなく「努力した過程」をほめる。

例え練習しただけの結果が得られなかった場合にも、「努力した過程」はほめてあげましょう。結果だけを評価すると「どうせやったってダメなんだ…」とやる気を失ってしまうことがあります。

②叱るときは、本人の言い分も聞いて、「行動」を叱る。

頭ごなしに叱ると、納得できないまま人格を否定されたと感じる場合があります。「〇〇さん、ダメ！」では、何がダメなのかわからず、自分を否定されたと感じる子もいます。

③学級の中に「居場所」を持てるようにする。

活躍の場や認められるような場面があると、自信が持てます。発達障害のあるなしに関わらず、「誰でも、いつでも助けてもらえる」という雰囲気は、子どもに安心感を与えます。

子どもたちの中には、自分のできない部分ばかりを気にして「自分はダメだ」と感じている子もいます。そのような子は、教師や保護者、友だちなどから良いところを指摘してもらい、自分自身を多面的に捉えられるように支援していく必要があります。

自尊感情を高めるには…

- ・成功体験を増やし、自分自身の評価をあげる
- ・教師や保護者、友だちなど、他者から肯定的な評価を得る

